

CLIPPEDIMAGE= JP358019978A

PAT-NO: JP358019978A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 58019978 A

TITLE: AUTOMATIC TRANSACTION DEVICE

PUBN-DATE: February 5, 1983

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

TSUKUI, SETSUO

HIUGA, YOSHIHARU

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

FUJITSU LTD

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP56119703

APPL-DATE: July 30, 1981

INT-CL (IPC): G06F015/30;G07D009/00

US-CL-CURRENT: 235/379

ABSTRACT:

PURPOSE: To continue transaction, by storing accumulated transaction condition data on a storage medium when a trouble occurs and a pertinent device or another device to read transaction condition data stored on the storage medium.

CONSTITUTION: Bankbook data D<SB>1</SB> read in a reading part 1 is set to a register F<SB>1</SB> and is written in a memory 11. In a bank note counting part 2, data D<SB>2</SB> of the amount of money is set to a register F<SB>2</SB> and is written in the memory 11. Data concerning the transaction advance is always stored in the memory 11 also. When a trouble occurs, said

data D in the memory 11 are sent to a floppy controlling part 15 and are written on a disc 14. After recovery, data D are written in a memory 20. A device controlling part 21 transmits data D to controlling parts 5∼8 and sets said data D<SB>1</SB> and etc. to registers F<SB>1</SB> and etc. After that, the device is restarted to continue the interrupted transaction.

COPYRIGHT: (C)1983,JPO&Japio

⑯ 日本国特許庁 (JP)

⑯ 特許出願公開

⑯ 公開特許公報 (A)

昭58-19978

⑯ Int. Cl.³
G 06 F 15/30
G 07 D 9/00

識別記号

府内整理番号

7737-5B

7536-3E

⑯ 公開 昭和58年(1983)2月5日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑯ 自動取引装置

⑯ 特 願 昭56-119703

⑯ 出 願 昭56(1981)7月30日

⑯ 発明者 津久井節男

川崎市中原区上小田中1015番地
富士通株式会社内

⑯ 発明者 日向美晴

川崎市中原区上小田中1015番地
富士通株式会社内

⑯ 出願人 富士通株式会社

川崎市中原区上小田中1015番地

⑯ 代理人 弁理士 松岡宏四郎

発明の概要

1. 発明の名称

自動取引装置

2. 発明の図面

利用者が操作する機器が組込まれ利用者の操作
に沿う取引を遂行する自動取引装置において、
本装置の操作部を操作部と、前記操作部の動作
に伴う取引履歴データを記憶する手段と、該手段の障
害発生を検知する手段と、前記操作部から収取
られたデータを別途する手段とを備え、障害発生
を検知した際、前記収取られた取引履歴データを
前記操作部に記憶せしめ、障害が除去された当
該障害もしくは他の障害に前記操作部内の取引
履歴データを収取させるとともにより取引を遮断し
て再開せしめることを特徴とする自動取引装置。

3. 発明の詳細な説明

本発明は障害復旧手段を備えた自動取引装置に
関する。

会員機器で採用されている自動取引(現金、支
払など)装置において、その取引の実行中に障害

を発生した場合、該装置を監視するモニタ装置に
障害発生が表示される。これを見た管轄者の管理者
は、障害を発生した自動取引装置内の管轄パネル
(障害発生状況を示す)のデータを調べ、障害の
程度が大きい場合には、利用者(顧客)に他の自
動取引装置で取引を再開して貰うことになる。と
の場合、従来方式では始めから取引をやり直すこ
とにあり、また長い時間の場合は該装置で取引
を再開することになる。中断された取引を直結し
て再開するためには、管理者が障害発生直前の取
引履歴を窓口から詳しく聞き出し、該窓口の操作
の状態を、障害発生の直前の状態に復するように、
条件を設定せねばならない欠点があった。

本発明は上記の欠点を解決するためになされた
もので、障害発生後の取引再開を容易とする自
動取引装置の提供を目的とする。

本発明は、追加収取券、カードリーダ、現金支
払機、預金機等、利用者が操作する機器が組込み
れ利用者の操作に沿うた取引を自動的に遂行する
自動取引装置において、操作部の操作部を記憶

値段口と、前記入出力機器の動作に伴う取引情況データを吐える手段と、該口の販賣発生を検知する手段と、前記記憶媒体から読み取られたデータを別別する手段とを有し、販賣発生を検知した時、前記読み取られた取引情況データを前記記憶媒体に記憶せしめ、該口が除去された該該値段口もしくは他の該口に前記記憶媒体内の取引情況データを読みさせることにより取引を確認して丹念せしめることを目的とする自動取引装置である。

以下、本発明を図面によって説明する。図1図は本発明の一実施例を説明するフローチャート、図2図は本発明の一実施例を説明するプロック図であり、1は販賣部、2は販賣叶致部、3はプリンタ、4はキー入力受付部、5, 6, 7, 8はメモリ、9は前記値段口、10, 18は貯込部、11, 20はメモリ、12, 19は販取出部、13はエラー検出部、14はフロッピーディスク、15はフロッピーディスク、16は別別口、17はゲート部、21は該該値段口、A, Bは接点、C₁, C₂, C₃, C₄, Gは印字部、Dは取引情況データ、D₁, D₂, D₃, D₄は印字部、Eはエラー信号、F₁, F₂, F₃, F₄はレジスター、R₁, R₂は販取出部、W₁, W₂は貯込部、W₃は貯込部、Gは貯込部である。図1図において、自動取引装置の利用者は(預金の例)、

① 取引ボタンを押下する。
② 通帳を入力する。
③ 金額を入力する。

これらの入力によるデータがプロセッサへ伝送されて、所要データが返送され、確認されたのち、

④ 金額が取扱される。
⑤ 入金データその他の通帳に印字される。
再びこれらのデータがプロセッサへ伝送され、これに対し所要データが返送されてくる。
⑥ 通帳印字中に販賣発生
⑦ 上記①～⑥までの例は、孤立を放出する所である旨を示すデータ、セント回数から支払い許可番号が有ったか否か示すデータ、支払うべき金額を示すデータ等の取引情況データをフロッピーディスクにSAVEする。

⑧ 販賣が正しいときは他の該該口にフロッピーディスクを移す。
⑨ 販賣が正しいときは該該該該口を確認して使用し、通帳を打入する。
⑩ 通帳への印字動作を再開
⑪ 通帳を排出して取引を終了する。

図2図において、販取出部1に通帳が貯込されると、読み取られたデータD₁(顧客名、通帳番号、別別コードなど)は、レジスターF₁にセットされる。販売側印字部9は貯込部W₁を発し、レジスターF₁内のデータD₁をメモリ11に貯込む。次に利用者が預金すべき金額を打入すると販賣叶致部2は枚数を数えて、その金額(金額)D₂をレジスターF₂にセットする。販賣側印字部9は再び貯込部W₂を発し、このデータD₂をメモリ11に貯込む。同様に通帳に印字されるデータD₃及びキー入力部4から入力されたデータD₄も取引の進行と共にメモリ11に貯込まれる。従ってメモリ11には取引進行に因るデータが常に貯えられることになる。図1図で説明したように取引の途中で、該該口に販賣

が発生すると、エラー検出部13はエラー信号Eを発出し、販取出部R₁を発するので、メモリ11内の取引情況データDは販取出部12により販取出されて、フロッピーディスク部15へ送られる。貯込部W₁により、この取引情況データDは接点Aを経てフロッピーディスク14に貯込まれる。

販賣発生をモニタで知った該該の管取者は、該該の状態を示す表示ボード(図示していない)により販賣箇所を調べて訪問する。該該板、管取者はフロッピーディスク部15を起動させて、フロッピーディスク14内のデータを入力せしめる。販取出部1により読み取られたデータDは、別別部16により別別され、取引情況データであることが確認されると、貯込部18を経てメモリ20に貯込まれる。該該別別部21は販取出部R₂を発してメモリ20内のデータDを販取出して、これを別別部5, 6, 7及び8へ送出する。一方、該該別別部21は別別番号C₁, C₂, C₃及びC₄を発するので、取引情況データDのうち、データD₁がレジスターF₁に、データD₂がレジスターF₂に、またデータD₃がレジ

ストP, IC, そしてデータD₁がレジスターF₁にそれぞれセットされる。然るに該証を开始させれば、中断された取引を継続して再開することができる。また口座が無い場合、管理者はフロッピディスク14を抜換口から取り外し、これを他の正常な自動取引機に投入することにより、上述と同様に取引の継続再開を行うことができる。

以上のように本発明は、障害の発生により中断された取引を、口座発生前の状態を再現せしめることにより、取引の継続再開を可能とするものであり、利用者に多大の便利を与えるものである。

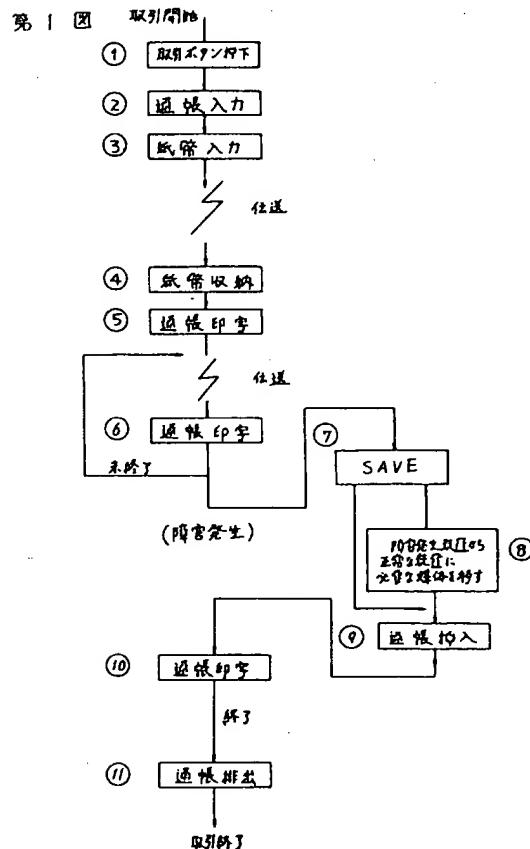
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例を説明するフローチャート、第2図は本発明の一実施例を説明するブロック図であり、図中に用いた符号は次の通りである。

1は読み取部、2は紙幣計数部、3はプリンタ、4はキー入力受付部、5, 6, 7, 8は側印部、9は仮証明印字部、10, 18は口座部、11, 20はメモリ、12, 19は読み出し部、13はエラー検出部、

14はフロッピディスク、15はフロッピディスク部、16は判別部、17はゲート部、21は積込制御部、A, Bは接点、C₁, C₂, C₃, C₄, Gは側印信号、Dは取引情報データ、D₁, D₂, D₃, D₄はデータ、Eはエラー信号、F₁, F₂, F₃, F₄はレジスター、R₁, R₂は読み出し信号、W₁, W₂は口座信号、W₃は積込信号、Tは脱出信号を示す。

代理人弁理士 松岡宏四郎
特許事務所



第2図

